
FAIRYTAIL ~ 過去の記憶は未来の希望へ ~

マクレーン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

FAIRYTAIL〜過去の記憶は未来の希望へ〜

【Nコード】

N4769Z

【作者名】

マクレーン

【あらすじ】

大事な仲間を殺された
復讐の為に生きようと決めた少年は、新たな仲間に出会った。
フェアリーテイルで少年は変わる

基本的には主人公サイドで原作に沿って進めます。オリ話もありません。

オリキャラ紹介 part 1

名前

スピアード・フルミネ

愛称

スピア

年齢

現在20歳

FT加入時14歳

性別

男

好きなもの

仲間 睡眠 アオイ

嫌いなもの

闇ギルド 不眠

魔法

剣技

追憶・剣閃

縦横を光の速さで斬る。剣の残像が光のように見える

追憶・十六夜

剣先から無数の分解組織を放出し、敵の体を削り取る

追憶・雷神剣

雷系の魔法を剣にまとい相手を斬る

追憶・車軸

剣先に力を集中させた突き

雷系魔法

レイジングボルト

ラクサスの技。直接ラクサスから教わった。

雷竜方天戟

ラクサスの技。直接ラクサスから教わった。

名前

アオイ・アクナス

年齢

享年14歳

性別

女

好きなもの

甘いもの スピアード

嫌いなもの

虫

剣の使い手。6年前、闇ギルドブラックエンジェルズ黒い天使達に殺害された。禁忌魔法
ソウルチェンジ魂転生の効果で意識だけが刀に残った。禁忌魔法

オリキャラ紹介part1（後書き）

はじめまして！

人生初小説です。

いたらないところもあると思うので、ご指導の程よろしく願います。

フェアリーテイル加入

マゲノリア

一つの建物の前に一人の少年が立っていた。

「ここが…フェアリーテイルか」

背負っている刀は少年の体より長く、刃先は地面についでいる。

刀の柄を握り目を閉じる。

「入らないの？」

声が聞こえるが周りには誰も居ない。気のせいではない。

そう、刀が喋っているのだ。

「ん？ああ、お前の事どう説明するかを考えてたんだ」

そう言いつつ、ギルドの扉を開けた。

扉を開けると、騒音とともに熱気が顔を襲った。

少し歩くと、数人が少年に気づき静まった。

「見ない顔だな……誰だ？」

その声が聞こえたが、気にせず歩く。

カウンターらしき所に座っている老人に、他と違う何かを感じた。

「すみません、フェアリーテイルというギルドはここですか？」

「そうじゃ。お前さんは誰じゃ？」

「スピード・フルミネです。スパアと呼んでください」

「では、スパア。お前さんはなぜここに？」

「あの、このギルドに入りたいのですが…」

「ああ、構わんよ。来る者拒まずじゃ」

「ありがとうございます」

「ワシはこのギルドのマスター・マカロフじゃ。まあ、気楽にやっ
ていけい」

「解りました。よろしくお願いします」

と、握手を交わす。

「ところでスパア。お前さんはどんな魔法を使うのじゃ？」

「剣技なら誰にも負けません」

「ふむ、大した自信じゃの。どれh…」「オレと勝負しろ！」「…」

マカロフの話の途中に駆けてきた少年がいた。

桜色の髪にツリ目。鱗のようなマフラーをしている。

「君は？」

「オレは、ナツだ。よろしくな！」

と、少年は笑った。

「あ…スピアード・フルミネです。スピアと呼んで下さい」

「よし！スピア、オレと勝負しろ！」

いやいやいや……いきなりかよ！

「おいナツ。そういうのは後にしろ」

スピアの後方から、声がした。

見ると鎧を着た、赤い髪の少女がいた。

「スピアと言ったな。私はエルザだ。よろしく頼む」

随分としつかりした人だな

「「こちらこそよろしくお願ひします」

エルザと挨拶をすると、他のメンバーも集まってきた。

「オレはグレイ・フルバスターだ。よろしくな」

「よろしくお願ひします。って……何でパンツ一丁なんですか？」

「はっ！しまった！」

「ププププ」

パンツ一丁のグレイを見てナツが笑っている。

「なんだよ！ツリ目！」

「あ！？やんのかタレ目変態！」

うわ。ケンカかよ

「あの、ケンカh…「やめんかあ！」…ふっ！」

バキッ！

ボコッ！！

ナツとグレイのケンカを止めようと、エルザが割り込んだが

近くにいたスパアまで巻き込まれた。

「まったく！お前らは礼儀をわきまえたらどうだ！……ん、どうしたスパア？」

いつ……痛てええ

「い……いや、大丈夫です……」

「そうか。ならいいんだが」

何だこのギルドは……

「新入りだつてえ？」

白い髪にポニーテール、へそ出し少女が現れた。

「相手してあげるよ。かかってきな」

うわ、不良だ

「よせミラ。お前じゃ勝てない」

「アア？やんのかエルザアア！！」

「上等だ！ミラ、かかってこい！」

いやいやいや。あんたらもケンカかよ！！

バキッ！

ボコッ！！

「つて……誰も止めないんですか？！」

「無数の剣戟けんげきを一瞬にして……見事」

とマカロフが言う。

刀を背中に戻し、一息つく。

「……ふう」

周囲の視線がスピアに集まっている。

あっ！またやっちゃった……

「「「スゲエエエエ！」「」」

えっ？

「スピア、スゲエな！オレにも教えてくれよ！」

「馬鹿か、お前にできるわけねえだろナツ！」

「やってみなきゃ、わかんねえだろ！」

バキッ！

ボコッ！！

「……本当に騒がしいギルドですね」

「ああ。だが、ここにいると心が安らぐ。そっだろ？」

エルザに問われ、スピアは迷うことなく答えた。

「はい！俺、このギルドに来て良かったです」

「「「ようこそ！妖精の尻尾へ！」」」

フェアリーテイル加入（後書き）

いやあ、難しいですね。

ルーシー加入まで過去話です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4769z/>

FAIRYTAIL ~ 過去の記憶は未来の希望へ ~

2011年12月16日02時49分発行